

第2類医薬品

513

葛根湯エキス散〔勝昌〕



使用上の注意

漢方薬は原則として随証の方法と云って体質や病状などを参考に使用します。
しかし、正しく判断することは漢方に慣れていないと非常に難しいものです。
そこで医師、薬剤師又は登録販売者とよく相談して薬を正しく使用して下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
- (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - (4) 胃腸の弱い人。
 - (5) 発汗傾向の著しい人。
 - (6) 高齢者。
 - (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

**2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、
直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売
者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこ わばりに加えて、脱力感、筋肉痛があら われ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目 が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、 食欲不振等があらわれる。
多形紅斑	皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚 の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの 痛み等が持続したり、急激に悪化する。

3. 1ヵ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回)服
用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医
師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下
さい。

【効能・効果】 次のような症状に有効です。

体力中等度以上のものの次の諸症：
感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、
手や肩の痛み

【用法・用量】

下記の量を空腹時に水又はぬるま湯と一緒に服用して下さい。

1回量	1日服用回数
1.5g(添付のスプーンで1杯)	3回

*【成分・分量】

葛根湯エキス散〔勝昌〕は漢方処方に従って生薬を配合し抽出して得た水製
エキスを賦形剤を加えて散剤としたものです。

本品4.5g中

日局カッコン・・・4.0 g 日局シャクヤク・・・2.0 g
日局マオウ・・・3.0 g 日局カンゾウ・・・2.0 g
日局タイソウ・・・3.0 g 日局ショウキョウ・・・1.0 g
局外生規ケイシ・・・2.0 g

上記の混合生薬より抽出した葛根湯水製エキス(「漢方処方集」)2.4gを含有
しています。
添加物(賦形剤)としてトウモロコシデンプンを含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わる)

【お問い合わせ先】

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気づきの点がご
ざいましたら、お買い求めの薬局・販売店又は下記までご連絡頂きますようお願い
申し上げます。

製造販売元 株式会社 東洋薬行 お客様相談係
受付時間: 午前9:00～午後5:00(土、日、祝日を除く)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-19-7
電話(03)3813-2263 FAX(03)3813-0202

株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷6-19-7